県政に活力！ 地域にぬくもりを！

長崎県議会議員

山口はつみ だより No.14

やまぐち　はつみ

平成20年８月　　発行責任者：山口初實　　編集責任者：榮　勇俊

総務委員会報告

バスジャックの対応等について提言！

条例議案2件、報告議案4件、陳情書5件、意見書6件を慎重に審議し可決・承認いたしました。議案外の所管事項として「長崎県行財政改革プラン」への取り組み、県庁舎建設の是非、道州制、県警察官の不祥事への対応についてなど広く県政の課題について議論を行いました。又、バスジャック、竹島問題、離島航空路ＯＲＣ支援についてなど県政の喫緊の課題について論議を深めました。「地方機関の再編」については別途進捗状況について中間報告を受けることに致しました。

総務委員会・審査風景

県議会 委員会から

バスジャック対応ただす

山口初實委員（改革21）が「少年によるバスジャック事件が起きた。バス会社への指導や、バス会社として非常時に対応するマニュアルはあるのか」などとただした。

永松衛県警刑事部長が「長崎では大きなバスジャックが二回起きた。西鉄バスジャック事件を機に、バス会社の運転手の対応要領などを定めた。今回の事件を受け、再度、バス会社に連絡して適切な措置をとりたい」と答えた。山口委員は「警報装置も含め、バスをいかに保護するかの対処法が大事」と強調した。

総務

7月19日　長崎新聞より

裁判員制度について研修

裁判員制度が平成21年5月21日よりスタートします。

そこで私達改革21議員団13名は長崎地裁に出向き、法廷の見学の後、地裁所長及び事務局長より制度導入の趣旨、裁判員選任手続きの方法、裁判員になる確率、裁判の進め方などについて説明を受け質疑を交わしました。

長崎地方裁判所法廷・裁判官席で記念撮影

長崎県原子力平和利用研究会議総会

常任理事に就任！

「地球環境の保全と資源・エネルギーの選択、ならびに原子力の平和利用などについて提言、研究を行い、国際社会における日本の役割と我が国の産業・経済の発展に資し、国民の生活安定向上を図ることを目的とする」として平成元年8月に発足し20年をむかえました。

平成20年7月26日に開催された第20回総会において役員改選により常任理事に就任致しました。

総会終了後「今後の温暖化対策のあり方」と題して（財）電力中央研究所 社会経済研究所 上席研究員・杉山大志氏よりご講演を頂きました。

総会・新役員挨拶

コラム江戸町

本来なら4年間の任期が認められている県議会副議長であるが慣例の任期1年間により吉川副議長の辞職を受け後任を選任することとなった。

県議会最大会派の自民県民会議は一本化調整に失敗し自主投票と成ったが、県議会史上初めて自民党系以外の副議長が誕生した。

議長は第一会派から副議長は第二会派からが適当であると改革21は主張したが自民県民会議は認めず党内一本化調整を図った。

結果は不毛の論議の末、党内分裂となり県民の信頼は失墜。それでも権力に固執する勢力の水面下での工作が功を奏して、改革21からの副議長選出はならなかった。県議会の正常化を求める多くの県民の期待に応えられなかった責任を痛切に感じている。

ご相談はお気軽に！

長崎県議会議員

山口はつみ

事務所：TEL･FAX 0957(43)2800
自　宅：TEL･FAX 0957(44)1003
携　帯：０９０（２５１４）９８３５
E-mail:hatumi@mrh.biglobe.ne.jp

この用紙は再生紙を使用しています。

諫早大水害から51年・万灯川まつり

暑中お見舞い申しあげます

今年は例年より2週間ほど早く梅雨明けとなりました。

その後連日、猛暑日が続いておりますが皆様ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

長崎県議会は梅雨明けと共に7月定例議会（7月4日～25日の22日間）が開催されましたが、県議会も猛暑の中連日熱い議論が展開されました。

佐賀地裁判決・潮受け堤防排水門の開門調査に異議あり！

先ず開会冒頭、諫早湾干拓事業の潮受け堤防排水門の5年内の常時開放調査を命じた佐賀地裁判決をうけ「開門に反対する意見書」を共産を除く賛成多数で可決いたしました。

その後、国は佐賀地裁判決を不服として控訴いたしましたが、一方で若林農相は開門調査のための環境アセスメントを実施し「関係者の同意を得ながら開門調査を含め検討する」と玉虫色の談話を公表しています。

私は司法の判断の重みを尊重することを基本と致しますが、地元諫早市の住民の一人として思いを述べさせていただきます。こういう状況の中、諫早大水害から51年目の夏を迎えました。洪水の犠牲になられた６３３名の御霊の安らかなることを念ずると共に本名川の穏やかなることを心から祈念いたします。

諫早湾干拓事業が真に必要である事業であったのかは50年後、１００年後の評価を待たなければならないと思いますが、諫早湾干拓事業が防災事業として変更展開されてきた歴史を踏まえ、一通りの完成と成った現実の中で、①地元住民の安心の確保　②営農が開始された干拓営農地の保全　③開門調査を行う場合防災対策工事の莫大な費用が必要となる　等を考慮すれば開門は行わず、現状を踏まえた有明海の漁場再生に国家の精力を傾注することが極めて重要であると判断いたします。

「農業」も「漁業」も「市民」も共生するために!!

「長崎県がん対策推進条例」議員発議で制定

長崎県議会では初めての議員発議による政策条例を可決承認いたしました。

がん対策推進条例は県民の死亡の最大の要因となっているがんの予防や検診による早期発見、がん医療を提供する体制整備を図ることを目的として、女性議員が案を取りまとめ議長を除く全議員で提案を行い満場一致採択を行いました。

私自身これからも真に県民の皆様の期待に応える政策提言ができるように日々努力を致します。更なるご指導をお願い致します。

長崎県議会議員　**山口 はつみ**

未来へと夢をつないで育てる緑
第33回全国育樹祭大会テーマ（H21年　百花台公園）

平成20年7月定例県議会報告

7月定例県議会は、7月4日(金)～25日(金)までの22日間の会期で開催され条例議案、事件議案、請願、意見書など40議案を審議し、可決、承認、採択、認定し閉会いたしました。(従来は6月定例議会として開催していましたが、6月15日～25日ブラジル移民100周年記念事業が現地ブラジル・サンパウロ市他で開催され、議長他6名の県議が出席いたしましたので1ヶ月遅れの開催となったものです)

今議会の冒頭佐賀地裁による「諫早湾干拓堤防の排水門開放調査」の判決に対し、「開門をしないよう求める意見書」を賛成多数で可決しました。

改革21が提案した「後期高齢者医療制度の廃止を求める請願」は改革21、創爽会、共産は賛成したものの自民、公明が反対し賛成少数で否決されました。

また、議会最終日には「長崎県がん対策推進条例案」を議員提案し(全議員が提案者となり)満場一致で可決制定いたしました。

主な議案の内容

▼条例議案(6件)

・長崎県吏員恩給条例の一部を改正する条例(職員厚生課)
株式会社日本政策金融公庫法の施行に伴う改正をしようとするもの。

・長崎県看護職員修学資金貸与条例の一部を改正する条例(医療政策課)
学校教育法の一部改正に伴う改正をしようとするもの。

・長崎県営土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例(農村整備課)
農地集積加速化基盤整備事業を実施するため、分担金の率を定めようとするもの。 他3件

▼事件議案(6件)

・和解及び損害賠償の額の決定について(体育保健課)
長崎県立武道館の網戸サッシが落下し、車両を損壊させた事案について、和解し損害賠償の額を決定しようとするもの。

・川平有料道路の事業計画の変更の同意について(道路建設課)
長崎県道路公社が行う有料道路改築に係る変更許可申請の同意について、県議会の議決を求めようとするもの。(ETC化・8月実施)

・長崎県道路公社の基本計画の変更認可申請について(道路建設課)
「鷹島肥前大橋有料道路」に関する基本計画の変更に係る定款の変更認可申請を行わないことについて、県議会の議決を求めようとするもの。(通行料を無料とする) 他3件

▼専決事項報告(法第179条関係 15件)

・平成19年度長崎県一般会計補正予算(第7号) 他11件
・長崎県税条例の一部を改正する条例(税務課) 他1件
・長崎県立児童福祉施設条例等の一部を改正する条例(福祉保健課、障害福祉課、病院局)

▼認定議案(3件)

・平成19年度長崎県病院事業会計決算の認定について(病院局)
・平成19年度長崎県港湾整備事業会計決算の認定について(漁港漁場整備課・港湾課)
・平成19年度長崎県交通事業会計決算の認定について(交通局)

▼意見書(8件)

・地方財源の充実強化について
・義務教育にかかる確実な財源保障と制度の堅持について
・真に国民のための医療を実現する「社会保障費削減撤廃」について
・長寿医療制度(後期高齢者医療制度)の改善について
・安心できる地域医療体制の確保について
・森林・林業・木材産業施設の積極的な展開について
・道路整備の安定的な財源確保について
・拉致問題の早期解決を求める意見書

▼県教育振興計画案は議案撤回
・県教委は2月定例県議会で継続審査となり、7月定例会で審査予定であった県教育振興基本計画案について、議会の意向を踏まえ修正するため、議案の撤回を行いました。
今後議会の意見や国の方針、学校耐震化問題などの状況の変化に応じた検討修正を行い9月定例会に再提出を目指すことになります。

県議会テレビ広報番組「県議会リポート」に出演

○総合交通・情報網整備促進特別委員会委員長としての抱負について述べていますのでお知らせいたします。是非ご覧ください。
○放映日 8月17日(日) 16時25分～16時55分〈NIB〉

県庁舎問題について

県庁舎の建設について突然議論が髪髴してきました。
県政の課題として新幹線が一段落し、魚市跡地の埋め立て工事が間もなく完成することになり、又庁舎の耐震構造の欠陥が指摘されるなどがあり県庁舎建設についてクローズアップされることになりました。
県議会議員のなかにおいても耐震改修、現地建替え、移転建替え等々賛否両論あり、これまでの歴史を踏まえ県民の皆様の声を聞き建設の是非について検討を始めることとなりました。
幅広く県民の意見を聞くために、県内5地区で公聴会を開催致します。
公聴会は議運委が主催し、県内を★長崎市など県南 ★佐世保市など県北 ★県央 ★島原半島 ★離島の5地区に分けて開催、具体的な時期や形式については今後決定致します。

現在の県庁舎(長崎市江戸町)

タウンミーティング開催

改革21議員団13名によるタウンミーティングを前半・五島市及び上五島町(6月14～15日)、後半・対馬市(6月28～29日)の計4会場で開催しました。
タウンミーティングのテーマは「離島の医療対策について」特に県が提案している離島医療圏組合の再編統合について具体的に該当地域の意見を聞くことで開催しました。
私は前半の五島地域に参加し地域の医療の現状と将来不安について多くのご意見を伺いました。今後の県政に反映し離島の皆さんが安心して医療が受けられるように努力を致します。

長崎キャノン(株)の誘致

デジタルカメラの新工場が波佐見工業団地に立地決定しました。
○投資額：150億円
○雇 用：1,000人以上の見通し(将来1,500人以上の雇用も)
正社員を中心に雇用
○中・高級タイプのコンパクト型デジカメ、一眼レフカメラの生産拠点とする
○平成21年1月 工場着工 12月 操業開始
○立地理由：
・大分工場はフル稼働が続き、地理的に近く物流を効率化しやすい長崎に新工場を設置。
・大分では、有効求人倍率が1倍前後で推移するなど若手人材の確保が難しい。
・波佐見工業団地では、波佐見有田インターチェンジから約5分の位置で交通の便が良い。

キャノン新工場の立地が決定した波佐見工業団地

国政、県政、市政報告会を実施

と き：7月4日(金)18時30分～
ところ：諫早市社会福祉会館
大久保ゆきしげ参議院議員事務所主催で国政、県政、市政報告会を開催いたしました。

県政の状況を報告する山口県議

活動スナップ

タウンミーティング

対馬南警察署、最新鋭警備艇「つしま」艇長とツーショット

対馬、海上保安庁視察 最新鋭巡視艇「なつぐも」